



“リそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ!

Study

2022
October

10月

制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

今後も値上げラッシュは続く?インフレって何?!

今年に入ってから、身近な日用品や食品等の値上げラッシュが次々と報道されています。

また、商品価格は同じでも内容量が減少する実質値上げも数多く見られます。

これからも続くかもしれない値上げラッシュに備えるにはどうすればよいのでしょうか?



今年の 値上がり例



ハンバーガー

110円
→130円(3月)
→150円(10月)



トイレトペーパー、ティッシュ

15%以上
値上げ
(3月)



フリース

1,990円
→2,990円
(9月)

「物価が上がる」=「お金の価値が下がる」

値上げにより、例えば今年の初めには110円で買えていたハンバーガーが、今は110円では買えず、あと40円必要と言うことは、「110円の価値」が下がったということです。モノの価格(物価)が上がり、お金の価値が下がり続ける状態を「インフレーション(インフレ)」と言います。

物価上昇=お金の価値が下落

今まで110円で買えていたものが、150円に値上がりすると...



= 100 10



100 10 10 10 10 10

110円の価値が相対的に低下する

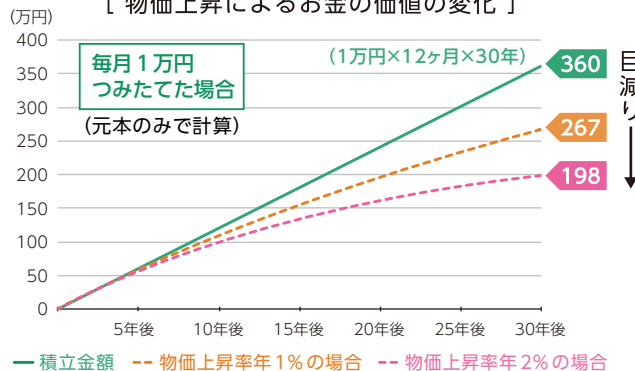
インフレは、なぜ起こる?

インフレとは、経済全体が成長して、モノの価格が継続的に上昇することを言います。一般に、販売価格の上昇で企業が儲かり、社員の給料が増え、購買意欲が向上します。一方、今回の急激なインフレは、近年の世界情勢の不安定化による、原油等のエネルギー価格や小麦等の食品価格の上昇、急激な円安を背景とした輸入コストの増大等により、各企業が商品の価格や容量を変更せざるを得ない状況となったことが、引き金となっています。給料は増えずにモノの価格だけが上がっています。

インフレへの備えとして 運用を検討しよう

インフレになるとお金の価値が下がるため、安全だと思ってせっかくコツコツ貯金をして、右図のように、将来、資産価値が目減りしてしまう可能性があります。確定拠出年金の資産は60歳以降にセカンドライフ資金として使うものであり、引出しが20~30年後という方も少なくないでしょう。定期預金等の元本確保型商品では、物価上昇を上回る利回りは期待できません。将来のインフレに備えるには、投資信託を組入れた運用で資産を増やすことが重要です。インフレ対策として、配分の見直しを検討してみてもいいかもしれません。

〔物価上昇によるお金の価値の変化〕



“リそにゃ”とまなぼ!は
毎月発行しています。

バックナンバーはこちら
からご覧いただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/oshiete/>

2022年10月発行

リそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。